

# 豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
<b>確かな学力</b>	①縦割り活動を通して異学年同士のつながりを築き、自他を大切にしている心情を育てる。②Y-P アセスメントを活用した支援検討会を実施し、個々の子どもの課題の早期発見と「自分・仲間・集団づくり」に行かす。③地域等の身近な社会とつながる機会を大切にし、体験を通して多様な人たちへの共感を育む。
担当	道徳部

豊かな心に関わる本校の状況	目標を実現するための具体的行動プラン				
<p>① 学校生活について 児童数は、303名で、個別支援学級は4学級、1～6年は2学級である。児童は落ち着いた雰囲気の中で学習に臨み、休み時間は外で遊んだり思い思いに過ごしたりするなど比較的のびのびと過ごしている。</p> <p>令和4年度に行った「横浜市学力・学習状況調査」における児童のアンケート調査では、学年にばらつきがあるが、数値的には横浜市の平均を上回る結果だった。「学校は安心できる場所だと思うか。」「学習することは好きか。」という項目などは、値が低い学年もあったので、各教科での学習をはじめ、道徳教育や特別活動などを通して、より安心して進んで活動に取り組むことのできる子どもの育成を目指していきたい。</p> <p>② 自己意識について 項目によっては平均値を下回ることもあるが、大幅に平均値を上回ることも多い。「自分のことが好きか」という項目では、ほとんどの学年が平均を上回り、学校や家庭、地域生活において達成感や自己有用感を感じる児童が多いことがうかがわれる。「相手の立場になって、その人の気持ちを考えるようにしていますか。」高学年ほど相手の気持ちを考えている児童の割合が高くなっていった。</p> <p>また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか。」という項目では、市の平均と同等か下回る割合が他の項目と比べて比較的高かった。いじめはいなくなる時でも許されることではないので、低学年のうちから互いの違いを認め合うことや相手の気持ちを想像することなど、「いじめは絶対にいけない」という子どもたちの意識を高めていけるよう指導をしていきたい。</p>	<p style="text-align: center;"><b>目標を実現するための具体的行動プラン</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">上半期</td> <td> <p>①道徳科を要とした学校の教育活動を通じた道徳教育に関する具体的な手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値について自分事として考えるきっかけになるように、主体的に考えるような導入や、実践への意欲を高めるような終末などの授業の工夫。</li> <li>・道徳教育全体計画・別業と連動させた指導計画づくり。</li> <li>・区道徳研究会での公開授業にて講師等を招いての研修。</li> </ul> <p>②育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 夢や希望、目標をもてる子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来や生活との関連を意識した授業づくり</li> <li>・様々な「本物」に触れる体験も含む豊かな体験活動</li> <li>・キャリアパスポート（自分づくりパスポート）の活用</li> </ul> </li> <li>2. 社会性や協働性、課題解決能力やコミュニケーションスキルのある子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの人の力の活用（見守り隊、図書ボランティア、花ボランティア、協働本部のみなさん）</li> <li>・運動会プロジェクト活動をもとに、友達と協力して取り組むことのよさを実感する。</li> </ul> </li> </ol> </td> </tr> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">下半期</td> <td> <p>①同上</p> <p>②育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分も他人も大切にしている子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子どもも安心して生活する権利があり、尊重される存在であるということを実教育活動を通して実践する。</li> <li>・ともに同じ地域で過ごしている一員としてかかわりを楽しんだり、互いのよさや特性を認め合ったりする。</li> </ul> </li> <li>2. 個人の価値を尊重したり、自他の敬愛と協力を重んじたりすることができる子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で組織的・計画的な交流教育の実施</li> <li>・ひの特別支援学校との年間を通じた計画的な交流</li> <li>・学校カウンセラーの活用</li> <li>・「二小っ子ミュージックフェスタ」「二小っ子フェスティバル」を中心として活動をもとに、自分や友達を大切に組みよさを実感する。</li> </ul> </li> </ol> </td> </tr> </table>	上半期	<p>①道徳科を要とした学校の教育活動を通じた道徳教育に関する具体的な手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値について自分事として考えるきっかけになるように、主体的に考えるような導入や、実践への意欲を高めるような終末などの授業の工夫。</li> <li>・道徳教育全体計画・別業と連動させた指導計画づくり。</li> <li>・区道徳研究会での公開授業にて講師等を招いての研修。</li> </ul> <p>②育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 夢や希望、目標をもてる子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来や生活との関連を意識した授業づくり</li> <li>・様々な「本物」に触れる体験も含む豊かな体験活動</li> <li>・キャリアパスポート（自分づくりパスポート）の活用</li> </ul> </li> <li>2. 社会性や協働性、課題解決能力やコミュニケーションスキルのある子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの人の力の活用（見守り隊、図書ボランティア、花ボランティア、協働本部のみなさん）</li> <li>・運動会プロジェクト活動をもとに、友達と協力して取り組むことのよさを実感する。</li> </ul> </li> </ol>	下半期	<p>①同上</p> <p>②育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分も他人も大切にしている子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子どもも安心して生活する権利があり、尊重される存在であるということを実教育活動を通して実践する。</li> <li>・ともに同じ地域で過ごしている一員としてかかわりを楽しんだり、互いのよさや特性を認め合ったりする。</li> </ul> </li> <li>2. 個人の価値を尊重したり、自他の敬愛と協力を重んじたりすることができる子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で組織的・計画的な交流教育の実施</li> <li>・ひの特別支援学校との年間を通じた計画的な交流</li> <li>・学校カウンセラーの活用</li> <li>・「二小っ子ミュージックフェスタ」「二小っ子フェスティバル」を中心として活動をもとに、自分や友達を大切に組みよさを実感する。</li> </ul> </li> </ol>
上半期	<p>①道徳科を要とした学校の教育活動を通じた道徳教育に関する具体的な手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳的価値について自分事として考えるきっかけになるように、主体的に考えるような導入や、実践への意欲を高めるような終末などの授業の工夫。</li> <li>・道徳教育全体計画・別業と連動させた指導計画づくり。</li> <li>・区道徳研究会での公開授業にて講師等を招いての研修。</li> </ul> <p>②育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 夢や希望、目標をもてる子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来や生活との関連を意識した授業づくり</li> <li>・様々な「本物」に触れる体験も含む豊かな体験活動</li> <li>・キャリアパスポート（自分づくりパスポート）の活用</li> </ul> </li> <li>2. 社会性や協働性、課題解決能力やコミュニケーションスキルのある子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの人の力の活用（見守り隊、図書ボランティア、花ボランティア、協働本部のみなさん）</li> <li>・運動会プロジェクト活動をもとに、友達と協力して取り組むことのよさを実感する。</li> </ul> </li> </ol>				
下半期	<p>①同上</p> <p>②育成を目指す具体化した資質・能力と関連付けた具体的な手立て</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自分も他人も大切にしている子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの子どもも安心して生活する権利があり、尊重される存在であるということを実教育活動を通して実践する。</li> <li>・ともに同じ地域で過ごしている一員としてかかわりを楽しんだり、互いのよさや特性を認め合ったりする。</li> </ul> </li> <li>2. 個人の価値を尊重したり、自他の敬愛と協力を重んじたりすることができる子ども               <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校全体で組織的・計画的な交流教育の実施</li> <li>・ひの特別支援学校との年間を通じた計画的な交流</li> <li>・学校カウンセラーの活用</li> <li>・「二小っ子ミュージックフェスタ」「二小っ子フェスティバル」を中心として活動をもとに、自分や友達を大切に組みよさを実感する。</li> </ul> </li> </ol>				

今年度の目標
自分や友だちのことを大切にしながら、思いやりをもち、進んで活動する子を育てる。